

# 上海に根ざすひと

Vol.  
5



盛・美容外科 院長・医学博士

## 盛虹明さん

**Profile**・・・82年南京医学院卒業。89年に来日、北里大学医学部、横浜市立大学医学部を経て、聖マリアンナ医科大学にて博士号を取得。97年から横浜市立大学医学部形成外科勤務。同客員研究員として在籍したまま、04年6月から上海在住。

### 真心をもって人と接したい

「私の仕事はビジネスではなく、精神科医のようでもあり、職人のような仕事でもあるのです。整形にくる患者の大半は、心に何かしらの傷を抱えているという。そこで、初診のカウンセリングではその患者の心の悩みを親身になって聞き、より良い解決を導けるような手術の準備をする。

カウンセリングの段階では1時間程度、ゆっくりと時間をかけて、人と成りを見ながら話を進めていくのだという。どんな手術をどう進めるのが一番適しているのか、見定めるためだ。そこで盛院長がいつものように口にするのが「整形はプラスチック工場の生産ラインのように単純にはいかない。もともとの顔の良い部分を生かしながら、あなたに合うような美しさを引き出したい」ということ。

実は盛院長自身、子供の頃に全身火傷を負い、身も心も

深く傷ついたことがあった。その際に、外傷部分だけでなく、傷ついた心も医者に癒されたのだという。その時の経験から、患者の状況や心理状態を深く理解すること大切さを身をもって学んだのだと振り返る。

そして強くこだわっているのが、手術は1日に一件きりということ。理由は手術の精度を落とさないためだ。医者にとっては数ある手術の一つであっても、患者にとっては一度きりの、しかも寸分の失敗の許されない手術だからだ。

盛院長は実に16年にも及び日本で暮らした経験がある。そこで身をもって学んだのが、人のために尽くして恩返しを求めないこと、いわば“真心”を持つということだ。

日本ではたくさんの人に生活面から何まで世話になった。ある時、お世話になった人にいつか恩返しすることを誓っ

たら、返ってきた言葉が「私は恩返しなんか要らない。君は自分より弱い人のために尽くしてあげなさい」。その時、日本人の思いやりにしみじみと感じ入ったという。

医院の方は開業してまだ2年足らず。患者1人1人に時間をかける結果、ビジネスとしての大成功を取めているわけではない。しかし、患者の大半は日本人が占め、しかもその3分の2が患者を通した紹介、即ち口コミだ。家族を連れてくるケースや、わざわざ日本から出向いて来る人も後を絶たないという。

「私は常々、謙遜、まじめに、一步一步、と自分に言い聞かせます。整形外科は収入がよく、華やかさが伴うので、調子に乗ってしまう医者が多いからです。私はひたすら地味な役目に徹して、患者さんの舞台を支えたい、ということです。」



### 盛・美容外科

各種美容整形に対応、日本語に堪能な院長が自らカウンセリングから手術、アフターフォローまで担当する。利用者のほとんどが日本人。

📍 浦東新区崂山西路1029号1603室

☎ 021-5878-8183(中国語) 021-5878-8082(日本語)

✉ Sheng\_hm@yahoo.co.cn(中国語)

Sheng\_hm2@yahoo.co.jp(日本語)

🌐 www.shenghm.com